

平成30年度 堺市障害者自立支援協議会 第3回障害当事者部会

議事概要

日時	平成30年6月27日(水) 14:00~16:00
場所	堺市総合福祉会館 5階 第2研修室
出席者 (敬称略)	井坂、茅原、川崎、辻本、梶田、川淵、松本、丸野、北村、西野、石橋
欠席者	なし
傍聴	0名
事務局	【堺市障害施策推進課】足立、木村
事務局補助	【総合相談情報センター】濱

●既存委員による自己紹介

【委員】(司会)

- ・「既存委員の皆様より自己紹介をお願いします。」

【委員】

- ・既存委員8名より改めて自己紹介をして頂きました。

●ブログについて

- ・委員より更新された記事の紹介がありました。

●当事者交流会のテーマについて

【事務局より】

- ・開催案内を広報さかい10月号に掲載予定→8月中旬原稿締切(厳守)
9月の当事者部会にて役割分担など決め、10月本番、11月で振り返り予定。
H29年度は、堺産業振興センターにて「障害福祉制度と恋愛について」

(今年度のテーマについて)

【意見交換】

- ・**社会資源** 障害者が使う社会資源はどうか?
公共の電車やバス、映画の割引など手帳で使える社会資源など

• **当事者と介護者の関係性 障害者とヘルパーの関係性**

これから孤立していく方がどうやって介護者を使って自立したらいいか
時々お母さんから聞かれる。

• 若い障害者がどうやって自立していくか

• 精神障害者はリカバリーという病気の快復はあるが、発達や身体などリカバリーのストーリーはあるのか？

⇒事故に遭った人が受容して立ち直っていくストーリー？

⇒回復は私たちにはない、先天的か後発的なものかによって違う。生まれつきなので回復というのは…？

• **障害者が生き易くなる為先に社会が変わるべきか、個人が変わるべきか**

答えはないが、あえて対立させるテーマはどうか？

⇒医学モデルと社会モデルがあって、今は障害当事者が発信して社会をかえようという動き。とはいえ、当事者自身も医学モデルも多い。

⇒障害の度合いは変わらない人と進行性の病気の人によっても精神面は違う。

⇒結構みんなきついところくぐってきている。この人生後悔している。

⇒その立場にならないと分からなかったが、病院はひどい。

⇒障害を持っていても自分が幸せでいればいい、自己肯定感。

⇒社会の中で役割があって、自己肯定感が強かったら障害があっても幸せに生きていける。

⇒社会との関わり障害があると社会と切り離された存在。

一生懸命自分から関わっていかないと簡単に切られる。

一生懸命やらないと繋がらない、途中であきらめる、ひきこもりになる。

⇒昔はつながっていた。社会とのつながり。

⇒私は母親がつながろうとしていた、繋がりは大切。

⇒家族が孤立している。監禁など起きる。

• 石橋さんがやっている活動、それぞれいろんな思いがある人が集まってその拡大版。障害が違くとニーズが違う、かみ合わない部分がでてくるのかな？

• 広がってもまとまっていくなら、普遍的なテーマでもいいと思うが、小さなテーマから「**まずは外に出てみよう**」外に出たら何が困るかなど外に出たい、だけど出られないという問題、公共交通機関の問題など絞ったテーマがいい。

• **65歳問題**は深刻。65歳介護保険になったら全盲でも要支援にもならない。身近な問題で障害別に困ること。ただ若い方にとってはピンと来ない

かな？

- この前の地震で電車が全部止まった。防災もう一回やらないといけないかな。やってもやっても追いつかない。やってもなる時はなる。
⇒フォーラムの時の民生委員の話と繋がる
⇒福祉避難所はどこにあるのか？⇒別のWTで議論
⇒まずは学校などの避難所に行き、区によってバリアフリーのある施設に移る。
⇒この前の地震ではエレベーターが止まった。JRもすごい人だった。

※続きは来月の当事者部会にて。テーマを決めていくことに。

●その他について

【事務局より】

- 次回7月25日の第4回当事者部会に、奈良県中和圏域地域生活支援協議会より視察が来る。16時に部会終了後、奈良県と、委員との交流会をおこなう為、参加可能な方は是非参加頂きたい。尚、部会の会場は福祉会館5階の第1研修室に変更となっている為、注意を。
- グループホームの世話人研修を10月初旬予定（障害者支援課が企画）
来月の部会では、具体的な内容を提示し、参加頂ける講師を選出したい。

次回：7月25日（水）14：00～16：00（終了後、懇談あり）
総合福祉会館5階 第1研修室